



次なる 100年に向けて

株式会社朝日工業社 代表取締役社長

高須 康有

取り巻く事業環境と前期の業績

設備工事業を取り巻く国内建設市場の環境は、民間企業による積極的な設備投資が継続しており、その勢いは衰えず堅調に推移しております。首都圏をはじめとする大都市圏では大型再開発プロジェクトが多数進行しており、都市の景観や生活環境にも大きな変化をもたらしております。また、半導体関連工場や急成長を遂げるデータセンターの関連施設などにおいても設備投資が一層活発化し、その規模は従来にないほど大型化しております。これら最先端の産業分野での設備投資においては、非常に高度な技術力と対応力が求められており、当社に対する期待もますます高まっております。

また、機器製造販売事業に関わる市場は、半導体市場ではAI需要を背景に堅調な成長が見込まれる一方、液晶ディスプレイ市場は、短期的には全体としての需要の縮小が予想されております。しかし、車載ディスプレイやAR/VRといった特定分野に特化した製品とそれらに関連する部材の市場は拡大していくものと思われます。

このような環境の中、第18次中期経営計画の2年目にあたる当社グループの2025年3月期の業績は、前期業績と比較して増収増益を達成することができ

ました。受注高は、事業計画の重点テーマに沿った施工体制を考慮した計画的かつ戦略的な取り組みにより若干下回ったものの、当初目標を大きく上回っております。売上高は前期とほぼ同水準で推移しましたが、売上総利益以下の各段階利益については、大幅な増益を達成して2期連続で過去最高値を更新し、収益力の強化が着実に成果として表れていると考えております。当期である2026年3月期においても、第18次中期経営計画の各施策をさらに強力に推進し、お客様ならびに関係各位のご期待に応えられる業績を残せるよう、全力を尽くしてまいります。



はじめに

当社は、本年(2025年)4月3日に創立100周年を迎えることができました。大正、昭和、平成、令和の激動、変革の時代を乗り越え、このような時を迎えることができましたのも、偏に数多くのお客様、協力会社の皆様のご支援、ご協力、また先輩諸兄姉、社員の皆様のご尽力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

さて、当社はこれまで、「建築設備工事」と「機器製造販売」の二つを事業の柱とし、さまざまな時代の

ニーズに応えてまいりました。環境破壊やエネルギー不足といった地球環境に関わる問題がますますクローズアップされる今日においても、「空気・水・熱」をコントロールする技術によって、社会やお客様から多大なる信頼をいただいていることが当社の強みであると考えます。今後も持続可能な社会の実現に貢献することを使命とし、環境保全と経済性の両立を図るべく、積極的な技術革新と最適なソリューションの提供に努めてまいります。

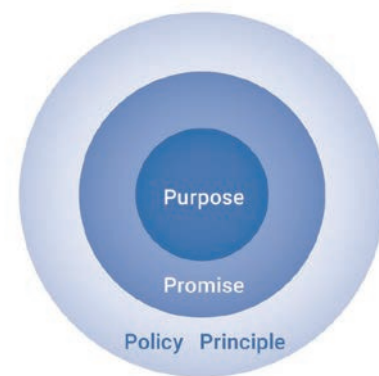
直近3期 連結業績 (単位:百万円)	'23/3期	'24/3期	'25/3期		
	実績	実績	実績	前年比	増減率(%)
受注高	86,778	97,586	93,098	△4,487	△4.6
次期繰越高	82,380	88,290	89,441	1,151	1.3
売上高	80,171	91,676	91,947	271	0.3
売上総利益	9,053	11,652	15,357	3,704	31.8
利益率	11.3%	12.7%	16.7%	4.0pt	—
営業利益	2,697	4,568	7,248	2,679	58.7
利益率	3.4%	5.0%	7.9%	2.9pt	—
経常利益	3,127	4,896	7,582	2,685	54.8
利益率	3.9%	5.3%	8.2%	2.9pt	—
親会社株主に帰属する当期純利益	2,480	3,712	6,229	2,516	67.8
利益率	3.1%	4.0%	6.8%	2.8pt	—

新たな企業理念「ASAHI-PHILOSOPHY」の制定



現在はあらゆるものを取り巻く環境が複雑さを増し将来の予測が困難な時代、「VUCAの時代」と言われております。今の当社グループを取り巻く環境は好調といえども、これがこの先も続くとは考えられません。いつ、どのような時代にあっても「信頼され必要とされる企業」であり続けるため、「何のために当社が存在しているのか」、「どのような価値を創造して社会に貢献していくのか」を明確にすることが必要と考え、この度の創立100周年を迎えるにあ

ASAHI-PHILOSOPHY



たって、新たな企業理念「ASAHI-PHILOSOPHY」を制定いたしました。

この「ASAHI-PHILOSOPHY」の中核となるものは、「情熱と技術で、世界をもっと最適に」としたパーパス(存在意義)であります。当社グループはお客様と社会のニーズや期待に対して誠実・懸命な姿勢と挑戦する熱い想い、そして確かな技術力を持って、必要とされる「最適」を追求する企業集団であり続けてまいります。

長期ビジョン「ASAHI-VISION 2050」の策定

併せて、当社グループは、「ASAHI-PHILOSOPHY」の実現に向け、そのための指針・方向性を示すものとして、新たな長期ビジョン「ASAHI-VISION 2050」を策定し、スタートさせました。このビジョンは、これからの日本と世界を見据えながら、カーボンニュートラルの言われる2050年をターゲットとして、2030年、2040年、2050年の3段階のアップデートを行いながら、基盤構築から事業変革へと確実にステップアップし、最終的にはスローガンとした「ワクワクする未来をカタチに」の実現を目指すものであります。

当社グループの社員が「ワクワク」して能力を発揮

して活躍し、世の中を「ワクワク」させることのできる企業、「オール朝日」で全社一丸となって「ワクワク」する未来を創造できる企業集団を目指してまいります。



技術力の強化と人的資本への投資

「ASAHI-PHILOSOPHY」と「ASAHI-VISION 2050」にもあるように、当社グループは何よりも「技術」と「人」が経営の基盤であると考えております。

当社は技術をもってお客様から信頼され、成長してまいりました。「空気・水・熱」に関わる技術を追求し、それをお客様や社会が必要とされるものに具現化することが創業以来変わらぬ当社の社業であります。

当社は、現在、今年(2025年)秋の竣工を目指し、新技術研究所の建設を進めております。この新たな

研究所を通じて、次世代環境と新事業創出への挑戦をさらに加速してまいります。

いうまでもなく、「人」こそが当社一番の財産であり、資本であります。人材への投資を惜しむことは企業としての成長を放棄することに等しいと考えます。さまざまな特性を持った人材がそれぞれの能力を遺憾なく発揮し活躍できる職場づくり、社員一人ひとりが挑戦と成長を続けられる組織風土の醸成に引き続き取り組んでまいります。

おわりに

当社グループは、これまでの100年の歩みを礎とし、次の100年に向けてさらなる飛躍ができるよう、これからも積極的な取り組みを進めてまいります。時代が激変する中であっても、社員一人ひとりが「情熱と技術で、世界をもっと最適に」を常に胸に刻み、多様化、複雑化する社会課題に柔軟かつ迅速に対応できる企業、ステークホルダーの皆様との

対話を重視し、共創の精神で企業価値の持続的向上に努める企業、持続可能な社会の実現に貢献する企業としてお客様や社会に認められ、「信頼され、必要とされる企業」であり続ける取り組みを続けてまいります。

今後とも温かいご支援とご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

